


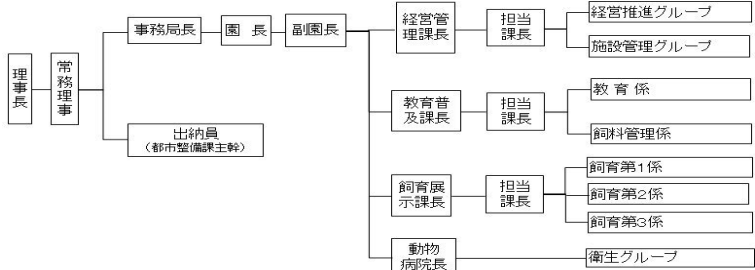
令和4年度指定管理者運営状況検証シート

令和5年3月31日現在

1 施設名等

施設名 (設置年月日)	とべ動物園 (昭和63年4月1日)	所在地 電話番号	愛媛県伊予郡砥部町上原町240 089-962-6000 https://www.tobezoo.com/		
県所管課	土木部道路都市局都市整備課	指定管理者の名称	公益財団法人愛媛県動物園協会		
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	利用料金制	○	あり	なし

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	県民が動物とふれあい、豊かな心を助長させるとともに、動物の知識を得て動物愛護の精神を学ぶ教育の場として、また憩いや潤いを提供する場として設置	施設の外観
施設内容	主要施設 ○獣舎…カンガルー・ワラビー舎ほか35棟 ○管理施設…管理事務所ほか14棟 ○便益施設…便所ほか8棟	
指定管理者が行う業務	①運営に関する業務 ②愛媛県立都市公園条例第6条の規定による公園の利用の禁止又は制限に関する業務 ③利用の許可に関する業務 ④利用に係る料金の収受に関する業務 ⑤利用者への便宜の供与に関する業務 ⑥利用の促進に関する業務 ⑦施設、附属設備及び備品の維持管理に関する業務 ⑧その他知事が定める業務	
施設の管理体制		

3 検証のための指標の推移

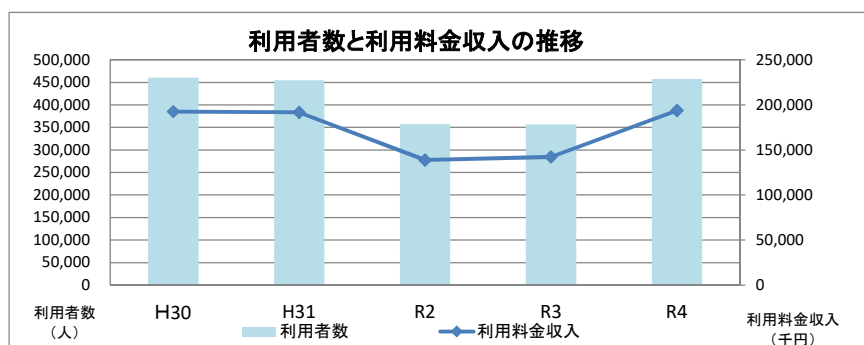
(1) 利用者数

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	460,308 人	454,888 人	357,693 人	356,479 人	458,007 人

(2) 収支状況

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収 (A)	572,193 千円	596,152 千円	620,569 千円	621,404 千円	625,552 千円
委託料	341,388 千円	372,383 千円	371,212 千円	371,212 千円	371,212 千円
委託料(補正額)※	0 千円	0 千円	58,701 千円	87,238 千円	29,874 千円
利用料金収入	192,664 千円	191,603 千円	138,886 千円	142,223 千円	193,701 千円
その他収入	38,141 千円	32,166 千円	51,770 千円	20,731 千円	30,765 千円
支 (B)	583,988 千円	601,226 千円	585,696 千円	623,875 千円	618,887 千円
事業費	100,038 千円	107,376 千円	98,248 千円	165,256 千円	110,939 千円
維持管理費	147,847 千円	156,255 千円	157,040 千円	158,924 千円	179,016 千円
人件費	335,606 千円	337,099 千円	329,858 千円	299,145 千円	328,382 千円
その他支出	497 千円	496 千円	550 千円	550 千円	550 千円
収 (A) - 支 (B)	▲ 11,795 千円	▲ 5,074 千円	34,873 千円	▲ 2,471 千円	6,665 千円

(※) 新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載



(※2) 収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

その他収入は収益事業等会計からの繰入を含む。
平成30年度、令和2年度には運転資金不足のためバス購入資金を取り崩している。
H30 15,000千円、R2 33,745千円

4 管理運営の評価

(1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○夜の動物園の開催、動物の誕生会などの事業の実施 ○移動動物園や講師派遣などによる動物の知識及び愛護思想の普及活動 ○年間パスポートや各種割引制度、コンビニでの前売り販売などの入園料金のサービス、こどもの城及び総合運動公園との駐車料金の連携サービス ○ジップラインの運行に伴う、こどもの城側でのジップライン+動物園入園券のセット販売 ○県が整備する「とべもりジップライン」の運行に関する協力 ○県が実施するイルミネーション事業に関する協力 ○有料ガイド事業の拡充 「トコロジスト養成講座」(13回)「獣医師体験」(5回)「TokuBEZoo」(6回) ○園内での市町特産品等物販事業(ふるさとおやつマルシェ) ○県が実施するサル・ヒヒ舎改修計画作成への参画 ○ホテル古湧園遥と連携し「TOBEZOORoom」を開始した他、ホテル宿泊にとべ動物園入園券がついたセットプランも展開し誘客に努めた。 ○入院している子どもたちのために、愛媛大学医学部附属病院小児病棟ととべ動物園を結ぶオンライン中継イベントを行った。</p> <p>令和4年度の年間入園者は458,007人で、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しない計画で掲げた目標50万人には約42千人及ばなかったが、コロナの影響を受けなかった平成30年度の460,308人とほぼ同じレベルまで回復している。</p> <p>引き続き、夜の動物園等の開園時間の延長や、来園者が多く見込まれる日の臨時開園により入園者の確保に努め、さらに有料ガイドを始めとする来園者サービスの充実を行い、入園者及び収入の増加に取り組むこととした。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、利用促進業務のイベント等に係る実施方法や回数等を見直すことで、感染対策を十分に図りつつ、入園者数の確保に努めており、評価できる。</p>	A

(2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○職員が、日常的に施設の点検を行い、建築物の清掃に努めた。来園者が安心して施設を利用できるように、建物の壁・床・天井の点検、屋外ベンチや植栽の枯れ枝等の確認を行い、不具合を発見したときは、県と協議し、復旧・改修した。 ○公園施設及び付属設備等の安全で適切な運営のため、職員が外観点検・機能点検を実施した。また、特殊施設については、施設等の維持管理に関する業務基準表に基づき次のとおり保守点検業務を専門業者に委託した。</p>	<p>当施設は開園から35年を経過し、多くの箇所で老朽化が進行している中、日々の日常点検や応急対応、県担当者との情報共有により、適切に維持管理業務を実施した。</p>	A

(3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○利用者アンケートの実施 動物の展示満足度85%、職員の勤務態度99%、設備の状況88%と、全て8割以上の支持を得ている。 ○代表メールアドレスの公開 意見や要望の把握および動物に関する質問に答えている。 ○「動物園の集い」の開催 報道機関・関係者等から生の意見を徴収し園の運営に活用した。</p>	<p>来園者への丁寧な対応を園全体で取り組むことで、利用者アンケートでは、職員の勤務態度に関して「よくやっている」が全体の99%と、非常に高い評価を得た。 また、来園者や関係者等からの意見にも迅速かつ丁寧に対応し、園のイメージアップに寄与した。</p>	S

(4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○年報の公表 ○平成29年度から広報・営業班を設置、職員1名を増員し、SNSを活用して情報発信に努めた他、ホテル、旅館などを訪問し、PR等を行っている。 ○ホームページ、フェイスブック、ツイッターにより情報を提供するほか、イベント情報等を作成し、県、市施設、旅館、ホテル、道の駅、サービスエリア、スーパー、コンビニ他に送付・掲示した。 ○テレビ・新聞等を通じて、アフリカゾウの仔である媛と砥愛の成長、ホッキョクグマのピースの様子、動物の搬入や繁殖した仔の成長情報など、県民にタイムリーな情報を提供した。また、ニュース報道だけでなく、動物に関するTV番組などへも積極的に参加協力した。</p>	<p>県内各局の情報番組における定期的な情報発信のほか、全国放送の番組においても積極的に参加協力を行うことで、県民のみならず、県外にも広く情報発信を行った。 また、各SNSを効果的に活用し、日々の動物の成長や誕生会の生配信など、多種多様な方法で認知度向上及び入園促進に努めた。</p>	A

【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括
<p>指定管理者である愛媛県動物園協会においては、非常に高い飼育技術を活かした動物の繁殖や、新たな動物の導入を積極的に行っており、県民に愛される施設運営を確実に実施できている点において高く評価できる。 令和4年度は令和4年3月に策定した「とべ動物園まじめ行動計画(第2期)」を基に魅力向上に取り組むとともに、とべもりエリアの周遊性の向上と利用者の拡大に努め、新型コロナウイルス感染拡大によるイベントの縮小等の影響を受けたものの、年間入園者数はコロナ前の平成30年度と同水準にまで回復した。 今後は、ポストコロナを見据えたイベントの実施規模や内容のリニューアル、効果的なSNS戦略により、一層の入園者数の増加を図るとともに、収益確保に向けた有料ガイドやオンラインショップの拡充など、収益性をより重視した、既成の価値観に囚われない柔軟な授業実施を期待する。</p>